

教えて！ 広域化の長所と短所



長所

経済性

- ・施設を1つに集約することで、建設費用を低く抑えることができます。
- ・運営維持管理費も低く抑えることができます。
- ・全体コストの削減が見込まれます。

環境への負荷

- ・燃焼時に発生する大きな熱エネルギーを活用した廃熱発電や温水を利用することで、火力発電所の化石燃料などの消費が減り、二酸化炭素の削減が期待できます。
- ・処理規模が大きくなることで、安定した燃焼管理が可能となり、ダイオキシンなどの有害物質の低減が図られます。

短所

経済性

- ・運搬距離と時間の増加により、収集運搬経費が増加します。また、建設場所によっては、ごみ中継施設の設置と運営が必要になる場合があります。

環境への負荷

- ・広域からごみ収集車が集まることで、排気ガスの増加が懸念されます。また、交通量の増加に伴う安全面や騒音の問題が考えられます。

利便性

- ・市民や事業者が直接ごみを搬入する場合、地域によっては運搬にかかる距離や時間が増加し、利便性の低下が懸念されます。

環境衛生センターとエコプラント魚沼に搬入する車両台数のデータは、ごみ収集車が1日約79台、一般車両が1日約455台となっているんじゃない。広域化に伴い、施設周辺の交通量の増加などが懸念されるため、安全面などを考慮した搬入経路などを考えていく必要があるのう。



広域で整備することを決定

南魚沼市、魚沼市、湯沢町の2市1町は、平成25年に新しい施設の共同処理を検討していくことで合意し、共同処理の利点などを検討しました。

平成27年2月、2市1町は、広域で新たなごみ処理施設を整備していくことを正式決定しました。



一緒に作るう

プレイバック パート1



昭和46年に完成した島新田のごみ処理施設の航空写真です。島新田には、昭和58年に2代目の施設が、平成16年に3代目の現施設が建設されました。写真中央部の、白色の丸いタンクはし尿処理施設です。

島新田並びに周辺地域には、約50年にわたり、地域のごみ行政に多大な貢献をいただいています。

◆今回は、新たなごみ処理施設に求められる規模や、エネルギー活用の事例などを紹介します。